

「銀河のしずく」における斑点米カメムシ類の防除回数

【概要】

- 1 「銀河のしずく」は割れ籾の発生が少ないため、斑点米カメムシ類の防除を穂揃期1週間後に1回行うことで、斑点米混入率を0.1%以下に抑えることができます(図)。
- 2 ただし、本田内雑草が多発している場合は、穂揃期1週間後1回の防除では斑点米混入率を0.1%以下に抑えることは困難です(表)。

【試験データ等】

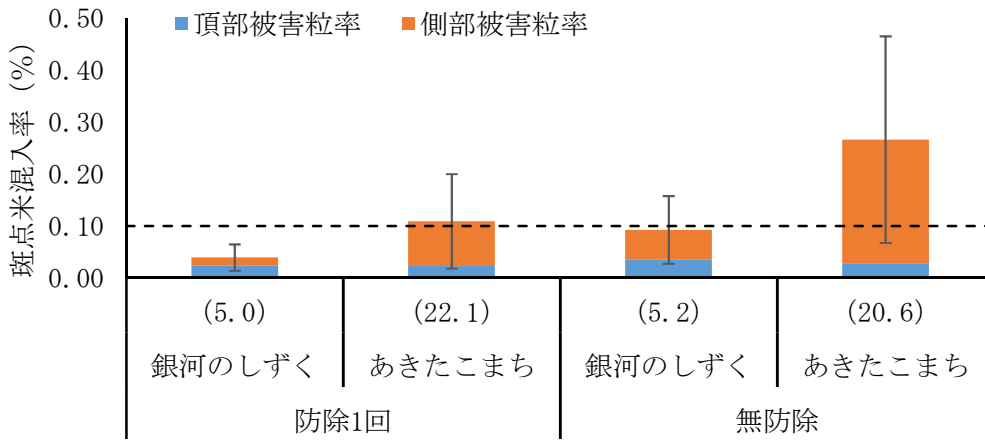


図 「銀河のしずく」と「あきたこまち」の斑点米発生状況(県農業研究センター内、R3~5)

- ・図中のバーは標準偏差、括弧付きの数字は平均割れ籾率。
- ・図中の点線は落等基準である斑点米混入率0.1%を示す。

【試験概要】：斑点米カメムシ類の発生は少発生、出穂期は「銀河のしずく」7/29~8/1、「あきたこまち」は7/28~7/30。防除は穂揃期1週間後にジノテフラン剤を用いた。

表 本田内雑草の発生が多い圃場における銀河のしずくの斑点米発生状況(現地)

年次	調査圃場数	カメムシ発生状況		本田内雑草発生程度	出穂期	防除薬剤(防除日)	斑点米混入率(%)	割れ籾率(%)
		畦畔	本田					
R4	3	少	中	多(ノビエ)	8/5	スタークル液剤10(8/15)	0.144	1.3
R5	2	少	中	甚(ノビエ)	8/1	スタークル液剤10(8/11)	0.206	7.0
R5	1	少	多	中(ノビエ)	8/1	スタークル液剤10(8/11) キラップフロアブル(8/24)	0.186	11.0

【試験概要】畦畔管理は農家慣行、本田内雑草発生程度は8月上旬の発生状況について、少：本田内の0~10%未満で発生、中：10~30%未満、多：30~50%未満、甚：50%~、カメムシ発生状況は8月上旬のすくい取り調査結果(40回振り)について、畦畔 少：0~20頭、本田 少：0~2頭、中：3~5頭、多：6頭以上の基準で区分。

【令和5年度成果】水稻品種「銀河のしずく」における斑点米カメムシ類の防除回数(R5-指-12)